

拉致被害者家族を支援するかわさき市民のつどい

【日時】令和4年10月1日（土）14時00分～16時00分

【場所】川崎市平和館及びオンライン配信

【主催】川崎市

【共催】あさがおの会（横田早紀江さんと同じマンションの住民有志による支援団体）

川崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会

川崎市には、拉致被害者の横田めぐみさんの御家族（母：横田早紀江さん）が在住されています。「拉致被害者家族を支援するかわさき市民のつどい」は、市民の皆様は拉致問題について理解を深め、関心を持ち続けていただくことを目的として、2008年（平成20年）から毎年、横田めぐみさんの誕生日（10月5日）であるこの時期にあわせて開催しています。

川崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会では、拉致被害者全員の一刻も早い救出とその御家族の支援のためと同時に、国民の間に広く拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題についての認識を深めていただくため、この市民のつどいを共催しています。

今年は、まずはじめに、福田紀彦川崎市長から主催者挨拶をした後、自見はなこ内閣府大臣政務官から国の取組について報告し、次いで横田早紀江さんから御挨拶を頂きました。

続いて、ジャーナリスト西岡省二さんによる「拉致問題解決のために必要な東アジア情勢の分析」について、御講演いただきました。

そして最後に、西岡省二さん、横田拓也さん（めぐみさんの弟）及び飯塚耕一郎さん（拉致被害者田口八重子さんの長男）による座談会が行われました。

会場には、拉致問題に関する啓発パネルを展示し、来場された方々が足を止めて御覧になる様子うかがわれ、拉致問題についての理解を深めることができました。わたしたちは、この問題を風化させず、一日も早い解決に向けて啓発活動に取り組んでいます。

